

インドネシアの コロナ状況

—SDGS10—

コロナの感染状況

日あたりの推移



・インドネシアでは、感染者の増加が、6月に入ってから約4万人、死者は2000人を突破しました

・インドネシアの感染状況の推移は以下の通りです。
(8月26日参照)

感染拡大の主な原因

インドネシアは国民の約90%の人々がイスラム教徒です。

イスラム教には、毎日5回礼拝施設のモスクやその他清潔な場所でお祈りをするという義務があります。

施設内には、一度に大勢の人々が密集するため、こうしたところからインドネシア国内でコロナの感染が広がっています。



インドネシアのコロナ対策

- ・イスラム教徒に礼拝への対策

今年は5月21日から6月1日までの12日間がレバラン休暇でした。

- ・その他の対策

最も人口が密集し、感染状況が深刻な首都ジャカルタでは、大統領による外出禁止令が出され、5月20日時点では、4月10日から6月4日までロックダウン（都市封鎖）していました。

初めは4月10日からの2週間と定めていましたが、感染拡大が深刻化しているため、数回もロックダウンの延長がされました。

日本からの支援

- 7月20日、日本政府はインドネシア政府の要請を受ける形で、20億円の無償資金協力と最大500億円の円支援金を送ることを決定しました。名目は新型コロナウイルスの感染症対策および医療体制支援です。
- 感染拡大防止への援助は、インドネシアの社会、経済回復を助けるとともに、日本への感染輸入予防や緩和においても重要だと考えられています。
- 今回の支援に関しては、さらに15億ドルが拠出されることになっている。アジア10ヶ国への融資を計画しており、インドネシアは正式決定した最初の国になります。

感想

今回、この学習を通して、どの国でも大変な思いをしていることは変わらないと思いました。インドネシアは発展途上国のため、日本などの先進国に比べて、対策が難しいことがわかりました。どの国でも大変な時期を乗り越えるため、支援など協力しあうことが大切だと思いました。

出典

- https://www.provej.jp/column/COVID-19_indonesia